

地域包括支援センター千束だより



ひなたぼっこ

No.12 2023年 春号

(年2回発行予定)

大田区地域包括支援センター千束

(田園調布医師会)

〒145-0061 大田区石川町 2-7-1

TEL :03-3728-6673

Email:

shiencenter@dencho-med.or.jp

【認知症サポーター養成講座 開催しました】

1月千束いこいの家・職員向け、2月オンライン、3月千束特別出張所にて地域の皆さん向けに開催。石川台中学校でも3/9に三年生の授業として実施しました。「祖母が何を思っていたか、知る事が出来た」「病気の事を知って、祖母への接し方を変えてみようと思った」「当事者の動画を見て、認知症でも不自由のない社会を作らなければならない、という説得力ある言葉を聞いて自分も小さなことから始めてみようと思った」「中学生の時からこのような知識を持っていると便利」といった感想が聞かれました！

★「認知症サポーター」とは??

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人を温かく見守る“応援者”です。

90分の講座を受ければどなたでもなる事ができます。受講料は無料です！

★5/30(火) 18:00~19:30 オンラインで、認知症サポーター養成講座を開催します。大田区ホームページよりお申込みください♪ → こちらのQRコードからお申込みできます

~今後も小中学校での講座を
広めたいです、未来の為に~



~千束キラリびと2~

☆千束地域でキラリと光る
活躍されている方のご紹介☆

毎号、リレー形式のコーナー。前回さくらまつり特別号の続きです！

大岡山北口商店街自治会会長・大岡山北口商店街振興組合副理事長 横尾吉雄様

何足ものわらじを履いて活躍されている横尾様★ 前回特別号でご紹介した、商店街・駅前ロータリー毎朝の清掃活動以外にも、3月までは「大田区紙おむつ支給サービス 配達事業」、さらに少年野球チーム「洗小ヤンキース」で40年近くコーチとして携わっていらっしゃいます。

・紙おむつ配達事業は4年間、3~4日かけて毎月150件前後、高齢者宅に配達していました。毎月顔ぶれに変更があり、同じではないのですよ。

・息子が小学2年生の時に少年野球に入団した事をきっかけにコーチになりました。娘は同チームでソフトボールをしていました。昔に比べ人数が減り、チームが統合されています。2月には千束地区のマラソン大会にもチームとして参加しました。「勝つのも大事だけれど、勝つための協力する事が大切。良い友達ができるのがスポーツの醍醐味だと思います」



商店街振興組合事務所にて

編集後記 ~ホッとひと息コラム~ 【初夏の時期からご注意を!】

ゴールデンウィークを過ぎる頃から、最高気温が夏日を超える日が出てきます。体が暑さに慣れるまでは時間が掛かる為、真夏でなくても熱中症になりやすく、この時期から対策が必要です！

熱中症予防の啓発としてご自宅訪問もできますので、ご連絡ください(*^-^*)